



東京大学での所属学部・研究科等:	工学部	学年(プログラム開始時):	学部4
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	エクセター大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 民間企業(業界:)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

エクセター大学は英国イングランド南西部に位置する総合大学で、自然豊かなキャンパスが特徴です。ターム1(9月中旬から12月上旬)とターム2(1月中旬から3月)に授業があり、ターム3(5月)は試験期間となります。学部によってはターム1と2の間にも試験期間があります。

留学した動機

留学した動機は3つあります。1つ目は、自分の専攻分野を異なった視点から学び、視野を広げたいと考えたこと。2つ目は、英語力を高めたかったこと。3つ目は、異なる文化的バックグラウンドを持つ人と交流したいと考えていたこと。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2016年	学部4	年生の	A1	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2016年	9月~	2017年	5月	
	学部4	年時に出発			

④留学後の授業履修:	2017年	学部4	年生の	A2	学期から履修開始	
⑤就職活動の時期:	2017年	学部4	年生の	6月頃に	行う予定	
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			156	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			0	単位	
	留学後の取得(予定)単位			0	単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2013年		4月入学	2018年	3	月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:			5年	0ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:						
<p>所属する学科での主要な授業を終了してから留学したいと考えたため、4年生の夏学期後に出発することになりました。</p>						
留学の準備						
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)						
<p>何かわからないことがあればエクセター大学の留学生受け入れの担当者にメールで質問するのが一番良いと思います。エクセター大学は単位取得のシステムがフレキシブルにできていて、留学生でも学科をまたがって授業を選択することが可能です。</p>						
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)						
<p>私は Tier 4 student visa を申請しました。事前にオンラインで必要事項を入力した上でビザセンターで必要書類を提出し、発行まで2週間ほどかかりました。交換留学生は銀行口座の預金証明が不要なので注意してください。</p>						
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)						
<p>本郷キャンパス内の医療センターで医師に相談の上予防接種を受けました。</p>						
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)						
<p>国際交流課の方から指示のあった東京海上の留学生向け保険に加入しました。</p>						
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)						
<p>学籍を「留学」にし、在学期間を延長する手続きを行ないました。</p>						
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)						
<p>留学前の語学レベルはIELTS7.0でした。Speakingが苦手だったので本郷キャンパスで放課後に行なわれる英会話のクラスに週1回参加していました。</p>						

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

基本的に現地で何でも購入できますが、私はコンタクトレンズ、目薬、風邪薬、化粧品を持参しました。Windows パソコンを持ち込む場合は、イギリス用の充電プラグを入国後アマゾンで購入すれば使えます。(このプラグは日本では購入不可です。)荷物を宅送するのは send my bag というサービスが郵便局のサービスより割安です。

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Political geographies	15		NIMBYism and low carbon transition	15	
Social geography	15		Volatile planet	15	
Climate change: science and society	15		Nature, Development and Justice	15	
Academic writing (Insessional language course)	0		Geography of environment and sustainability	15	

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

私が選択した授業は基本的に講義が中心で、講義の合間に2、3人でディスカッションをする時間が10分程度ありました。'NIMBYism and low carbon transition'の授業は最終学年の授業であったため、講義に加え週1回読解課題の論文についてディスカッションをする時間がありました。(留学生はリサーチスキルを学ぶ授業は受講できませんでした。)

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

1年間で最大8個/120単位の授業を選択することができます。私は1学期目に3つの授業と留学生向けのAcademic writingの授業を受講し、2学期目に4つの授業を受講しました。1つの授業につき一般的に週2時間の講義がありました。私が受講していた授業では復習の一環として論文読解が課され、講義の復習と論文読解におよそ4、5時間かけていました。講義前の課題は時々課されましたが、それ以外は予習はしていませんでした。ほとんどの授業で学期の間に提出しなければならない2000語のエッセイが課され、授業の復習とは別に論文を読んだり、調べたりする必要がありました。

④学習・研究面でのアドバイス

イギリスの大学は日本の大学と学習方式が大幅に異なり、私はその違いが英語以上に壁であるように感じました。英語またはエッセイの書き方などで困ったことがあれば、大学附属の語学学校であるINTOで個別サポートを受けることができます。またエクセターでは講義を担当する教員の研究室を直接訪問し、課題に使う文献の探し方や試験対策について質問することができます。

⑤語学面での苦労・アドバイス等

当初は一般のおよび専門的な語彙力がなかったため、論文を読むのもエッセイを書くのもとても難しく感じました。一方で読み書きの能力を高める効率的な方法は私はないと思っていたので、毎日地道に努力することで徐々に乗り越えていきました。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

Single studioというタイプのキッチン・シャワー完備の一人部屋で暮らしていました。大学が所有する寮の一室で比較的新しくきれいでした。家賃は光熱費込みで月5250ポンド程度でした。交換留学生は優先的に大学の寮に入ることができ、受け入れが決まると寮のアプリケーションもできます。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候に関しては真冬は東京より暖かいです。寒いまたは涼しい季節は東京より長く、10月の始めから4月の半ばくらいまでは冬物のコートが必要と思われます。大学内に売店が数店あり、キャンパスから徒歩20分ほどのCity centreには大きなスーパー、ドラッグストアなどがあります。一般的にどのお店でもクレジットカードが使えるので現金を使ったことはほぼなく、銀行口座もつくりませんでしたが、コインランドリーだけは現金が必要です。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

キャンパス周辺は一般的に治安は良いです。キャンパス内にヘルスケアセンターがあり、健康の相談もできると思います。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

家賃(光熱費込み): £525, 食糧および日用品: £80

・留学に要した費用総額とその内訳

家賃: £5250, 食糧および日用品: £720, 航空機代: ¥150,000, 荷物輸送費: ¥60,000, 家電: £50

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

JASSOの奨学金を大学を通じて受給していました。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

Language exchange というプログラムに参加し、私がパートナーの子に日本語を教える代わりに、彼女から英語を習っていました。週に1回3時間ほどミーティングをしていました。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

大学附属のINTOという語学学校で英語に関するサポートを受けることができます。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

Forumという大学の中心的な建物にある図書館は24時間利用可能で、wifiもキャンパス内および大学所有の寮では無料で利用することができます。スポーツ施設に関しては有料のジムがあります。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

留学によって私の価値観は大きく変わったと思いますが、希望業界や職種に変化はありません。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

3、4月中にオンラインで複数の企業にエントリーしました。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

全体的に留学は私にとって意味のある体験だったと思います。1つには大学での講義、ニュースメディア、様々なバックグラウンドを持つ友人との交流を通して日本の政治的関心や人々の価値観がイギリスおよびヨーロッパ諸国とどのように異なるのかを認識する機会を得たと思います。また、勉強や生活の中で様々な困難を乗り越えることによって、また初めて両親から離れて暮らしたことによって、自分に以前より自信を持つことができるようになったと思います。

②留学後の予定

留学後はまずは就職活動に取り組み、就職活動が一段落したら卒業研究に本格的に取り組む予定です。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。